

当たる!

広報クイズ(24)

●12月31日現在の平成2年度一般会計財政状況が発表されました。ほぼ予定どおりの収入、支出となつていますが、12月31日現在の一般会計予算額はいくらかでしょうか?

A 32億6000万円
B 88億1600万円
C 95億7571万円

(ヒント114ページ)

●親子でスポーツをと、カルチャーセンターが企画したファミリースポーツ教室。何のスポーツでしょう?

A テニス
B ソフトバレーボール
C 卓球

(ヒント117ページ)

●4月に行われる身近な選挙、市議会議員選挙の投票日はいつ?

今月の問題



白根市では毎年一月十五日に「白根市近郷中学生女子バレーボール大会」が行われることになっていきます。私は白根一中の二年生のとき、この大会に出場しました。今年で二十回目を迎える大会がカルチャーセンターで行われたので、久しぶりに訪れてみました。

ギャラリィに上がるなり、お



中学生バレーボール大会で燃えることの素晴らしさを
阿部智美さん (水道町5・教員二十四歳)

白根市では毎年一月十五日に「白根市近郷中学生女子バレーボール大会」が行われることになっていきます。私は白根一中の二年生のとき、この大会に出場しました。今年で二十回目を迎える大会がカルチャーセンターで行われたので、久しぶりに訪れてみました。

応募の方法

- A 4月7日
B 4月14日
C 4月21日
- (ヒント113ページ)

はがきに答えの記号(例●A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で五人に五百円の図書券を、三人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

○あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係

○締め切り 三月十九日(火) 必着

○抽選 三月二十日に市役所に来られた人に抽選していただきます。

○発表 四月一日号

当選おめでとう!

- 〔500円の図書券〕
- ▼浅原洋子さん(上下諏訪木・9歳)
 - ▼富山一輝さん(戸頭・5歳)
 - ▼竹内瑞貴さん(みの口・10歳)
 - ▼高橋拓也さん(白井・11歳)
 - ▼金子芳枝さん(白井・42歳)
- 〔県立自然科学館招待券〕
- ▼中島武勝さん(茨曾根・53歳)
 - ▼遠藤博さん(上下諏訪木・12歳)
 - ▼篠原成美さん(大通南・37歳)



2月20日に市役所に来られた池浦加奈恵ちゃん(上塩(仮)に抽選していただきました。先月号の正解は●B●A●Aでした。応募総数は77通で、全員が正解でした。

市民談話室

原稿募集

4月1日号の原稿を募集します。皆さんが日ごろ考えていることや身近な出来事など、気軽に投稿してください。字数は400字から500字程度とします。あて先は、〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 企画調整課 広報広聴係(☎373-2111④333)です。

ふるさと創生資金による「ふるさと館」が水道公園の隣に建設予定と、過日の日報紙に載っていた。果たして敷地の大きさや位置は適地かと疑問に思われる。当市は庭園公園は一カ所のみであり、そこをさらに充実させるならともかく、狭い敷地を二つに分断するのはいかかかなのか。さらに近くには駐車場所の適地もない。最初から駐車場のない建物は車社会に逆行する。



「ふるさと館」建設予定地の再考を
二見義隆さん (四ツ野野会社員・五十二歳)

これらの条件から、適地と思われるのは中央公民館が入居している場所ではないか。老朽化した建物の問題も含めて、地の利を生かした、土地の有効な活用方法を併せて考えてほしい。例えば行政と民間で農・工・商を組み入れたショッピングセンターを「ふるさと館」の中に集中するのはどうか。さらに、図書館も充実させてほしい。共同で建てることにより隣地境界の工事用の空間が必要なくなる。土地の間口を有効に使った広がりのある設計が可能となる。

商店街や共同店舗は買い物をする場であるとともに、買い物を楽しめ、楽しみに来たついでに買い物をする場へと変容することが求められている。市民の関心が地域環境や文化などの方向に向かって今、商店街の社会的機能を、単なる買物物の場から地域住民がさまざまなニーズを満たすために集う「暮らしの広場」へと高めることが必要である。そこに重点的に行政の支援を必要とする時代である。以上のことから「ふるさと館」の建設位置の再考を願う。



一輝君の知り書
僕の家族を紹介します
長谷ヨキさん (七軒主婦・五十六歳)

僕、長谷一輝です。今年から僕も市民の一人として仲間入りしました。どうぞよろしく。そこで、僕の家族を紹介します。ちよっぴり短気だけど働き者の大パパと、気難しくおっちょこちよいのママと、僕のママとママの五人家族です。

一輝は長谷の福の神だと言います。おかしいね。パパだって野球をやって帰りが遅くなったり、お酒を飲んで遅くなると、ちよっぴりママと変になります。そんなとき僕はすまして見てるだけ。僕はそんな家族が大好き。怒ったり笑ったり泣いたり、それが家族だもの。でも、今家族のない家庭が多いんだって。初孫の寝息にそっと ほほよせて



議会議員定数に思う
定数削減の英断を
牧野実さん (中塩会会社員・五十七歳)

四月、統一地方選挙が実施されようとしています。これを機会に白根市議会議員定数に一言申し上げます。あえぎながらやり繰りしている市財政の懐具合を心配し、この際ぜひ議員定数を減らすべく提言するものです。ちまたの話では、また議員報酬が引き上げられるようです。これも時勢の成せる業といえはそれまでです。しかし、財政再建団体から抜けたばかりなのは記憶に新しいところ。それにカルチャーセンターの建設など、白根市の財布は決して豊か

でないことは確かでしょう。白根市も町村合併から三十年余りたちました。地域エゴを捨て、全市民サイドに立った行政が行われても不思議ではないでしょう。議員諸公の資質はさておき、行政サイドに立って議員定数を減らすべく英断あつてこそ、本市が救われると信じます。カルチャーセンターの維持管理費もばかにならない数字だと思えます。一刻も早く検討されることを念じながら見守りたいと思います。議員定数は二十人くらいでいいかと思えます。

市民文芸

筋違の孫が指さす角の道 早川 英男
駆け落ちの二人に広い四畳半 山岡 フミ
長理チヨコを買った味がほろ苦い 米野 光雄
生き方を行書に変える定年後 本間 雪江
筋違し水火も絆さぬ肚である 吉川 彰
当たりクジ孫が得意のVサイン 荒木 イマ
朝帰り友に払った弁理料 今井 七郎
正夢でなくてよかつた友の無事 織田 セツ
キリストもアラも唄う反戦歌 後藤マサノ
重箱の隅をつついて嫌われる 佐藤トミノ
一筋の煙となつた父の葬 佐藤 ヨキ
理屈では儲かる底値の株で泣き 高橋祐四雄
氏素性ルーツ辿れば闇の中 竹石 甚五
お喋りに拾ったネタを誇りに行く 田中 成子
四角から○になれない頑固者 田村 恒夫
思い出を辿り歩いた夫婦旅 時田 良子
湾岸へ支援「平和」の煙吐く 中村 尚治

故郷の風に鐘を脱ぎ捨てる 西条 ムラ
フセインの髭が時計を逆に巻き 長井 徳市

俳句

白鳥の空濁りなく果てしなく 和泉 伸子
湯豆腐を囲むといふも二人なる 成沢 素明
底冷えに握りしめたるクルスカな 公衆 雪夫
玉子酒召されて尼僧はほほめし 豊木サダ子
外出の父の真顔の冬帽子 堀内ナナ子
雪なくて水仙の芽の出るひし 小林 光子
一番に鳴る尼寺の除夜の鐘 小林 すみ
スキーリフトむなしく揺れてゐるばかり 安沢 飛渡
寒肥の桶かつぎ来し屋敷畑 知野信一郎
佗助の落花をふみて極行く 山田 孝
風あれば窓に千葉のすれる音 五十嵐寛吾
(以上大風会)

短歌

手術おはり抜きたる我が齒 小出熊四郎
しみじみと母が遺品とじつと見つむる 小出熊四郎
新雪に反す日光の差し込みて 中村 京
飾りし雛の華やきを増す 小出熊四郎
即位式過ぎにし春を迎へば 小出熊四郎
初空舞へや夫婦白鶴 小出熊四郎